



# 清風

南砺市立上平小学校  
学校だより  
令和4年11月  
上平小学校ホームページ  
<http://kamitaira-e.el.tym.ed.jp>

## 共に生きる

校長 中町 寿子

「あなたが考える『共に生きる』とは、何ですか」

6年生は、約半年間、この言葉を自分に問い続けながら学習を進めてきました。私たちは、生きていく中で、年齢や経験、環境等いろいろな立場や状況から「共に生きる」について考える機会があります。今回、6年生の子供たちにとっては、初めて意識するテーマでした。保護者や地域の方たちからたっぷり愛情を受けてきている子供たちですし、十分に感じておられます。授業者の朝日教諭は、この子供たちであればこのテーマについて真剣に向き合うと信じていましたし、他人事ではなく自分事として考えてほしいという思いももっていました。そこで、これまであまり交流がなかった地域の高齢者の方々との出会いの場を設定しました。6月より7回、上平デイサービスセンターに訪問させていただきました。

この間、子供たちは「共に生きる」ことについて自分に問い続け、計3回、自分が考える「共に生きる」について、大きな模造紙に根拠を加えてまとめました。子供たちの「共に生きる」は、「支え合うこと」「相手を知ろうと思うこと」「年齢に関係なく接すること」など、様々でした。また、その答えに行きつくまで、何度も上平デイサービスセンターに訪問し、自分の課題を解決するため高齢者の方とのふれあい、職員さんへのインタビュー、質問等を繰り返しました。

中間発表会の様子を見せてもらったのですが、子供一人一人の考えやその理由についての発表からその子らしい思いがしっかり伝わってきて、とにかく楽しいのです。例えば、「支える」ではなく「支え合う」と発表していたAさんは、「人と人の関わりはどちらか一方からの支援ではなく、支えられている方からの笑顔や感謝も喜びにつながるということが分かった。だから、『支え合う』なんだ。」と紹介していました。さらに自然も「支え合う」の一つであると考えを広げており、ただただ感心するばかりでした。

今回、ESD研究発表会で、6年生の子供たちは、全員が自分の考える「共に生きる」を発表しました。どの子供の考えも素晴らしかったのはもちろんですが、子供たちが友達の思いや考え方をしっかり分かって受け止めて聞いている姿に、私は、かけがえのない学習の機会になっていることを実感しました。



## 自分たちで学校生活をよりよくするために

児童会担当 上野 琢磨

委員会活動とは、異なる学年の児童による自発的、自治的な活動を特質とする教育活動です。上平小学校には、「対話・遊び委員会」「文化・言葉委員会」「食・健康委員会」「自然・整備委員会」があります。その活動の様子を紹介します。対話・遊び委員会は、行間運動の運営や、友達のよいところを見付ける活動を行っています。文化・言葉委員会は、休み時間の図書室の本の貸し出し当番や、本に興味をもってもらうための企画を行っています。食・健康委員会は、給食の献立を放送することや、手洗い場に置かれている手洗い石けんの詰め替え、給食のマナーアップ活動を行っています。自然・整備委員会は、掃除の始まりを知らせる放送や、サツマイモ掘りの企画と運営、上手な掃除の仕方を広める取組をしています。どの委員会も子供たちが自分たちで計画を立案し、実行することを大切にしています。この経験を積み重ねていくことで、様々な友達と協力するよさや、協力して目標を実現すること、学校生活がより充実するよさを感じてほしいと考えています。



【企画のお知らせ】



【貸し出し当番】



【手洗い石けん補充】



【企画の運営】